

令和7年度 キャリア形成支援センター事業報告

I. 事業報告

1. スポーツ教育（専門教育）

（学外等での実習や資格取得、授業等について、スポーツ等の実践的な指導力を向上させるための企画、評価、改善を行う。）

学外等での実習や資格取得及び授業等の企画・評価・改善について検討し実施した。

▶学外スポーツ実習小委員会に於いて、実習日誌を1日ごとの記載ではなく、タスク（イベント）ごとに記載する様式が検討され、タスクごとの日誌も了承された。新たに認められた日誌はWebClassに掲載した。

2. キャリア教育（一般教育）

（キャリア形成科目について、社会的・職業的自立を図るための授業の企画、評価、改善を行う。）

キャリア形成科目について、授業担当教員と連携を図り、授業の運営を滞りなく行った。

3. 就職支援

（1）就職支援行事

①就職ガイダンス

5月14日及び10月23日に、学年並びに進路希望に応じて5つのコースを設定して実施し、5月は合計331名、10月は合計316名の参加があった。

②就活講座

（株）マイナビや（株）リクルートと連携し、「SPI 準備講座」をはじめ、年6回の就活講座を行った。

③学内個別企業説明会

年間を通して、学内での個別企業説明会を受け付け、延べ39社の申込みがあった。

④合同企業説明会

（株）マイナビが主催する「就職EXPO@福岡」にバスツアーを企画し、3月1日（日）に6名の参加があった。

⑤模擬試験

東京アカデミーが主催する教員採用模擬試験及び公務員採用模擬試験の学内実施を企画し、教員採用試験に延べ10名、公務員採用模擬試験に延べ30名の申込みがあり、試験を実施した。

（2）就職相談員による個別面談

6名（ハローワーク担当者2名含む）の就職相談員体制のもと、進路選択の相談、エントリーシート・履歴書等の添削、模擬面接等の個別面談を実施した。延べ441の利用があり、企業公務員・教員といった分野別の専門性を活かした支援が行われた。

（3）求人情報の提供

鹿屋体育大学キャリアナビにおいて求人情報を提供した。

（26卒向け求人数：35,265件）

(4) 卒業生の就職情報の提供

卒業生との面談を希望する学生に対し、就職情報を提供した(8名)

(5) 大学院生のキャリア支援のための学生用名刺の作成配付

大学院生に対し、就職活動ほかキャリア形成活動のために学生用名刺を作成し配付した。(教務課教育企画係にて対応)

4. 学内ワークスタディ事業

予算の都合により、今年度は実施を見送った。

5. 卒業・修了生とのネットワークづくりと支援体制の構築

重点事業プロジェクト「卒業生と在学生のマッチングによるキャリア支援」モデル事業を実施した。

▶公式プラットフォーム運営のための業者の選定を行った。(決定:翔也株式会社)

▶名簿を整え、公式プラットフォーム「NIFS Links」の運用を開始した。

▶ホームカミングデイの一環として、卒業生を講師に迎え、キャリアトークイベントを実施した。

6. 障害のある学生の就職先開拓

障害のある学生を支援する取り組みとして、情報収集を行った。

II. 決算報告(令和7年度)

1. キャリア形成支援センター経費

(令和7年度配分額:3,350,000円 ※ 当初:2,580,000円 補正:770,000)

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	2,147,500円	就職相談員給与
旅費交通費	813,340円	就職相談員旅費、
謝金	31,200円	就職ガイダンス学生講師謝金
物件費	216,812円	書籍、複合機賃貸
合 計	3,208,852円	

IV. その他(学外会議等)

1. 全国キャリア教育・指導ガイダンス

毎年6月に開催されている令和7年度全国キャリア教育・就職ガイダンスに参加した。

2. 国立大学キャリア支援担当者情報交換会

毎年8月に開催されている第11回国立大学キャリア支援担当者情報交換会に参加した。

3. 全国体育スポーツ系大学就職担当者連絡協議会

毎年11月~12月頃に開催される、仙台大学が幹事校として企画運営された令和7年度(第10回)全国体育スポーツ系大学就職担当者連絡協議会に参加した。

4. キャリア教育・就職支援ワークショップ

日本学生支援機構が主催するキャリア教育・就職支援ワークショップに参加した。